群馬県立藤岡北高等学校

さかなクラブ

群馬県

「小川の未来を考える」

Action

1998年藤岡市笹川で絶滅したと考えられていたヤリタナゴが発見された。群馬県内に唯一生息するタナゴとその生息環境を守るため、藤岡北高校では、行政や環境保護団体らと協働で環境教育の活動拠点づくり、生息環境の維持管理及びタナゴと生息環境を市民皆さんで考え実行するためタナゴプラットホームの構築の３つを活動目標に活動をしている。

校内にビオトープを創出し、ヤリタナゴや地域に生息している水生生物を飼育することで地域の水環境を再現している。ビオトープは生徒だけでなく来校者にも開放しており、農業体験後の幼稚園児には特に人気の場所となっている。また、社会人と協働で水路維持管理活動を実施し、生息地の維持管理には、高校生と社会人との合同作業が効果的であることがわかった。高齢化、低迷により消失の可能性もあるヤリタナゴ保護活動を継続するため、2021年7月に藤岡北高校にてヤリタナゴ懇談会を立ち上げ、保護活動の継承と秘訣を継承している。